

第13回匿名介護情報等の提供に関する専門委員会

日時 令和5年9月13日（水）

場所 Web開催

○山本委員長 それでは、定刻となりましたので、ただいまより、第13回匿名介護情報等の提供に関する専門委員会を開催いたします。

委員の皆様におかれましては、御多忙の折、御参加ありがとうございます。

まず、委員の出欠状況等について、事務局から報告をお願いいたします。

○事務局（長嶺） 老健局老人保健課の長嶺でございます。本日は御参加いただき、誠にありがとうございます。

本日は、辻委員、武藤委員は欠席と伺っております。

今村委員につきましては、御都合により会場にお越しいただいております。今村委員以外の出席者の方はウェブ参加となります。

開催要件を満たしていることを御報告いたします。

本日は公開の議題がございまして、YouTube上でライブ配信を行っております。申出の個別審査は非公開の議題ですので、審査の前にYouTubeのライブ配信を終了いたしますので、あらかじめ御了承願います。

本会議はアーカイブ配信をいたしませんので、会議開催時間帯のみ視聴可能となっております。

議事録作成のため、事務局にて録画をさせていただきますので、御了承をお願いいたします。議事録作成後に録画ファイルは消去させていただきます。

なお、YouTube配信を御視聴の方におかれましては、配信画面あるいは内容を許可なくほかのウェブサイトや著作物等へ転載することが禁止されておりますので、御留意いただきますようお願いいたします。

今、記録を開始くださいました。

○事務局（長嶺） 続きまして、資料の確認をいたします。議事次第のファイルをお開きください。

本日の議事と資料一覧が記載されております。資料はお手元にありますでしょうか。

本日の資料を画面表示して御説明いたしますが、適宜事務局から送付しております資料

もお手元で御参照いただければと存じます。

御不明な点等ございましたら、会議のチャットに書いていただくか、御発言いただければと存じます。御不明な点はございませんでしょうか。

よろしければ、山本委員長に進行をお渡しさせていただきます。山本先生、よろしくお願いいたします。

○山本委員長 承知いたしました。

早速、本日の議事に入りたいと思います。

まず、議題1「匿名介護情報等の第三者提供の実績について」の御報告をお願いいたします。

事務局から説明をお願いいたします。

○事務局（藤井） 事務局でございます。

まず、資料1「匿名介護情報等の第三者提供の実績について」、御報告を申し上げます。

1ページ目のスライドは、平成30年度以降、第三者提供の承諾件数の推移を棒グラフでお示ししています。令和5年度については、8月末時点の件数についてお示しをしております。御承知いただいておりますとおり、今年度定型データセットの提供が開始になったことに伴いまして、令和5年度の実績について、3月末時点においてはこれまでの一番の提供件数になることが見込まれているところです。また、提供申出者の区分については、「大学・大学院」が一番多く、次に「国の行政機関」「研究開発独立行政法人等」「公益法人」「都道府県」という順番になっております。

その次のスライドとその次のスライドには、これまで承諾いたしましたリストを掲載しておりますので、御参照いただければと思います。

資料1の説明については以上です。

○山本委員長 ありがとうございます。

ただいまの御説明につきまして、質問、御意見はございますでしょうか。

長島委員、どうぞ。

○長島委員 長島でございます。

せっかく提供しているので、できるだけ申請が多く、また、実際の提供が増えることが望ましいかと思っております。そのためには、このデータベースが利用者にとってより魅力的なもの、あるいは使いやすいものになることが求められますが、実際に事務局として対応していて、例えばLIFEのデータが加わったこと、NDB連結が始まっていること、あるいは最

近ですと定型データセットが始まったということで、このような形でより魅力的なものとして映っているのかどうか、その辺り、事務局の感触はいかがでしょうか。

○山本委員長 ありがとうございます。

事務局、いかがでしょうか。感触で結構です。

○事務局（長嶺） 御指摘いただきまして、ありがとうございます。

昨年度から介護DBもNDBに倣ってユーザー会を始めておりまして、定型データセットなども御紹介をさせていただいている次第です。学会等の場でも介護DBや連結解析、定型データセットについても御紹介をしているところですので、少しずつ知名度は上がっているかと思いますが、使いやすさというところでもう少し検討事項はあるかと思っておりますので、引き続き御助言いただきながら進めてまいりたいと思っております。

○長島委員 ぜひ魅力の周知に御努力いただければと思います。よろしく願いいたします。

○山本委員長 それでは、ほかに御質問、御意見はございますでしょうか。よろしゅうございますか。

それでは、次の議事に進みたいと思っております。本日の議事の2「第2回介護DBオープンデータについて（案）」ですけれども、事務局から御説明をお願いいたします。

○事務局（藤井） 事務局でございます。

資料2「第2回介護DBオープンデータについて（案）」、御説明いたします。

目次は表示しているとおりでございます。

これは今までもお示しをさせていただいているところではございますけれども、介護DBオープンデータの作成の目的としまして、多くの人々が介護DBデータに基づいた知見に接することができるよう、DBデータを用いて「介護給付費等実態統計では公表されていない内容」という観点で基礎的な集計表を作成した上で、公表するというところ、加えて、介護サービスの提供実態や要介護認定情報等のデータを分かりやすく示すところを目的としてございます。

また、今年の1月に第1回のオープンデータの公表をしたところでございます。今後は年に1度を目安に集計表を拡充して公表をしていく事を予定しております。また、オープンデータに対する一般の皆様からこのようなデータを公表していただきたいとか、そのような意見を募集しているところではございますが、現在のところ、要望は届いていない状況になっています。

本専門委員会で検討すべき事項ですけれども、検討内容といたしましては、オープンデータの方針、これはこれまでの専門委員会でも御承認をいただいたところでございます。また、6月の専門委員会では、秘匿処理の方法について御議論をいただきました。今回13回の専門委員会では、匿名LIFE情報の具体的な内容について御議論をいただきたいと考えております。

第2回、次に公表するオープンデータの内容としましては、まずは匿名要介護認定情報、匿名LIFE情報について公表をしたいと考えてございます。要介護認定情報に関しましては、第1回のオープンデータで集計した項目に年次を加えるような形で検討をしております。また、本日、特に御議論いただきたいところでございますが、匿名LIFE情報については、2021年度の情報に対して、サービス事業所の算定状況ですとか、科学的介護推進体制加算に関連する項目のうち、基礎的な項目や主要項目について、登録件数や実事業所数、利用者数等について公表をしていきたいと考えております。

公表形式ですけれども、第1回のオープンデータと同様の項目に加えて、施設類型の集計を行うことを検討しており、施設類型の集計については6月の専門委員会で御議論をいただいたところでございます。

加えまして、LIFE情報についてですが、LIFE関連加算の種類別にデータの登録状況の集計、加えて、LIFE関連加算の算定率の計算を行いたいと考えてございます。また、科学的介護推進体制加算の要件となっている入力項目のうち、フィードバックにおいて集計されている項目に限定して、定義をそろえた上で集計するとしてございますが、具体的に申し上げますと、日常生活自立度、ADL、栄養、認知機能、意欲、内服薬の平均種類数の分布等については、サービス種類別に実利用者数や、薬については内服薬の平均種類数等について集計を行いたいと考えております。

集計対象データの抽出条件ですけれども、LIFEシステムにおいて自動で記録されている「初回確定日時」を用いたいと考えております。「初回確定日時」が何かというところですが、これは「初回確定日時」は匿名LIFE情報の時点を特定する項目です。LIFEシステムでは、事業所が入力する「評価日」「作成日」等の日付情報がありますが、これは事業所で入力するものであり、時点が間違っずれてしまっていたりとか、たまに空欄のものがあつたりというところがありますので、時点を正確に特定することが困難となっております。一方、「初回確定日時」は、システム上でシステム的に収集する情報ですので、全てのデータにその日時がついております。この「初回確定日時」を今回使いたいと考えて

おります。ただ、「初回確定日時」について、LIFE自体は2021年4月に開始したものであるのですが、この項目自体が導入されたのが少しずれておりまして、8月2日に導入されたものになっておりますので、それ以前、4月から8月2日までのレコードにおいては「初回確定日時」が空欄となっているという特徴がございます。

そのため、集計対象期間においては、2021年の8月2日以降という形でさせていただければと考えております。また、お尻ですけれども、2022年4月10日までの範囲を集計することと考えております。これは例えば9月の評価に関しては翌月の10日までにデータを入力していただく事となっていますので、2022年3月のデータを取ろうとしますと、4月10日までを集計の範囲の対象とするということを考えております。また、そういった特徴がございますので、「評価日」と「初回確定日時」には最大で40日間のずれがあることも御留意いただく必要があります。

また、最新レコードの絞り込みの方法についてですけれども、LIFEの加算算定に当たっては、例えば6か月に1度ですとか、3か月に1度など、継続的にデータの入力が必要となっております、年度内に同一個人において同じデータが複数存在しますが、その中で1人1レコードに絞り込んだ上で集計を行いたいと考えております。

また、LIFE関連加算においては、加算の種類が複数ありますが、各加算で算定できるサービス種別がこの星取り表になっております。加算が算定できない事業所においてもデータの入力が可能とはなっていますが、不正確な情報だったりとか、数が足りない可能性があったりしますので、まず関連加算が存在するサービスに限定して集計することを考えております。つまり、この星取り表で○がついていないところに入っているデータについては、削除して集計をしたいと考えております。

また、集計事項についてですけれども、それぞれについてデータの登録件数や実事業所数、実利用者数、内服薬の平均種類数の最小値、最大値、平均値、標準偏差、算定率というものを出していきたいと思っておりますが、それぞれのカウント方法については、このスライドにお示ししているとおりです。

今後のスケジュールですけれども、今、お示しさせていただいた内容に沿って、2023年の11月頃、公表を目指したいと考えてございます。

また、第2回のオープンデータには考慮せずに、第3回以降に考慮する検討課題として、先生方からいただいているものもございます。例えば科学的介護推進体制加算以外の加算に関する詳細集計や、要介護認定情報について、もちろん集計時点の追加、加えて、要介

護度の変化について、前向き集計の追加、過去の時点の要介護度別の現在の認定申請内容や集計対象時点の要介護度別の将来の認定申請内容、あとは匿名介護レセプト情報や集計単位の検討についても引き続き検討を行っていきたいと考えてございます。

資料2の説明は以上となります。

○山本委員長 ありがとうございます。

それでは、ただいまの御説明に関しまして、御質問、御意見がありましたらよろしくお願いたします。

今村先生、どうぞ。

○今村委員 6ページの集計事項一覧ですけれども、性・年齢や都道府県別がかなりバーになっているのですけれども、これはやってもらうことを検討してもらっていたと理解したのですけれども、その後の検討でやらないことになったということなののでしょうか。それとも、やる考えはまだあるということでしょうか。やれない理由があるかですけれども、いかがでしょうか。

○山本委員長 事務局、お願いします。

○事務局（長嶺） 事務局でございます。

御質問ありがとうございます。今の検討状況として、11月までにこの集計を終わらせるためにどこまでできるかを計算している状況です。というのは、この集計自体が第三者提供のデータベースを利用して行うため、提供を優先しつつ、オープンデータの集計もしなければなりません。従い、そのスケジュールで確実にできそうなところはサービス種別なのですが、都道府県についてどこまで行けるかを、今、運用事業者さんと相談させていただいているところです。

○山本委員長 どうぞ。

○今村委員 最低限、都道府県別に見られないと、都道府県としての比較ができないのではないかと思うので、それはぜひお願いしたいことと、見るときにこの性・年齢別がないと、全体として高齢化率がどれだけ影響しているかなどが分からないので、この2つは粗集計なので、ぜひ今後出していけるようにしていただきたいと思います。

今村からは以上です。

○山本委員長 ありがとうございます。

これから先、頑張っていけないとしようがないというところですね。

ほか、いかがでしょうか。

長島委員、どうぞ。

○長島委員 8ページ、9ページあるいは7ページに関しては、これは事務局として実際の集計作業など集めることを考えたときに、これが最も現実的であるとか、有用であるという判断でされたということによろしいのでしょうか。

○山本委員長 よろしいですね。そういうことですね。

○事務局（長嶺） おっしゃるとおりです。

○長島委員 このデータの内容については、先ほど御要望もありましたけれども、現実的にも可能なところで、今後努力によってもうちょっと拡大できる余地はあるのでしょうか。

○事務局（長嶺） あると思います。

○長島委員 あまり大きな無理がかからない程度で、ぜひ御協力をお願いいたします。

○事務局（長嶺） こちらこそ、ありがとうございます。

○山本委員長 ほか、いかがでしょうか。

野口先生、お願いいたします。

○野口委員 申し訳ございません。委員長の発言を邪魔してしまいました。

BMI等々の数値について分布を示してくださるというのは、本当にこれはありがたいお話なのですが、できれば最大値、最小値あるいはそういった分布を示す標準偏差などを示すと同時に、平均値もぜひ後々お願いしたいと思います。よろしくをお願いします。

○山本委員長 ありがとうございます。

多分取扱事業者さんの慣れもありますし、それから、これは1回やると、そのまま直接使えないにしても、SQLの考え方等が整理されますので、2回目以降にもう少し余力が出てくるのではないかと期待がされますので、さらに皆様方の御議論を踏まえて、項目を充実させていくというように進めていきたいと思いますが、そういうことによろしゅうございますか。

（首肯する委員あり）

○山本委員長 ありがとうございます。

ほかに御質問、御意見はございますか。よろしゅうございますか。

それでは、本日の公開議事は以上になります。

個別審査に移る前に、事務局から必要なアナウンスメントをお願いいたします。

○事務局（長嶺） 事務局でございます。

それでは、ここからは申出者の申請内容に基づき審査を行いますので、非公開とさせて

いただきます。YouTube上でのライブ配信はここまでとさせていただきます。

本会議のアーカイブ配信につきましては、冒頭申し上げましたとおり行いませんので、議事内容については、後日公開される議事録を御確認ください。

本日は御視聴いただき、誠にありがとうございました。

それでは、ライブ配信の終了をお願いいたします。

(これ以降は非公開)

○事務局（長嶺） 次回の会議日程につきましては、追って御連絡をさせていただきます。

それでは、山本先生、よろしく願いいたします。

○山本委員長 それでは、以上をもちまして、第13回匿名介護情報等の提供に関する専門委員会を終了いたします。

本日は活発な御討議をありがとうございました。またよろしく願いします。

(了)